

Alute

室内アルミ手摺 【吹抜用】

取付説明書



このたびは、室内アルミ手摺Aluteをお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取付説明書をよくお読みになり、正しく適切な方法でご使用ください。  
※本書はAluteの取付を行う際の基本的な説明書です。現場の状況によっては組立方法が変わる場合があります。

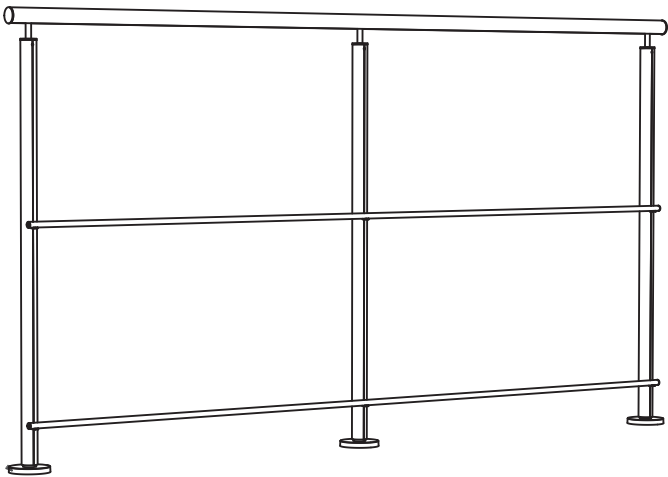
⚠ 注意事項

■施工上のご注意

- ＊外部用手摺として使用しないでください。
- ＊階段用の手摺は【階段用】の説明書をご参照ください。
- ＊水平手摺のため、角度をつけた取付はしないでください。
- ＊組み立て部品・ネジは当社指定品を使用してください。
- ＊取付は必ず専門業者で行ってください。
- ＊支柱のピッチは最大で910mm以下にしてください。
- ＊アルミの素地などが見える箇所はタッチペンで補修してください。

■使用上のご注意

- ＊製品の破損やケガの原因となりますので、以下の行為は絶対にしないでください。
  - ・手摺にロープ等をかけて、重いものを運搬する。
  - ・手摺以外の用途に使用する。
  - ・横棧や手摺の上に乗ったり、身を乗り出したりする。
  - ・横棧や手摺にぶらさがる。
- ・当社指定の附属品以外のものを取付ける。
- ・分解、改造を行う。



🔧 必要工具（ご用意願います）

- ・プラスドライバーまたは電動ドライバー    ・電動ドリル
- ・アルミ用チップソー（部材を切断する場合）

🔧 使用するビットとドリル（ご用意願います）

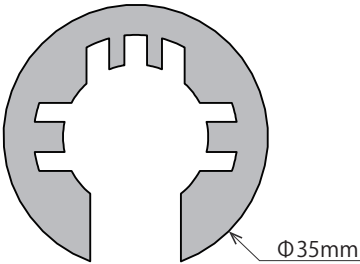
- |            |   |
|------------|---|
| ・プラスビット    | 狭い隙間の作業があるため、長いものや、曲がるタイプのものと作業がスムーズです。 |
| ・六角ソケットビット | 六角対辺10.0mm                              |
| ・木用ドリル     | Φ4.5mm                                  |

✔ 使用レンチサイズ（付属しています）

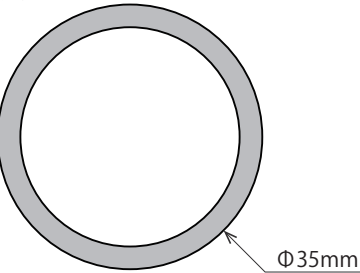
ビス種類		六角レンチサイズ	
極低頭六角穴付きボルト	M4	2mm	
	M5	3mm	
ホーローセット	M4	2mm	
	M5	2.5mm	

アルミ型材断面図

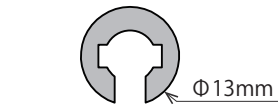
笠木



支柱



中棧  
支柱フレドメ用アルミ型材Φ13mm



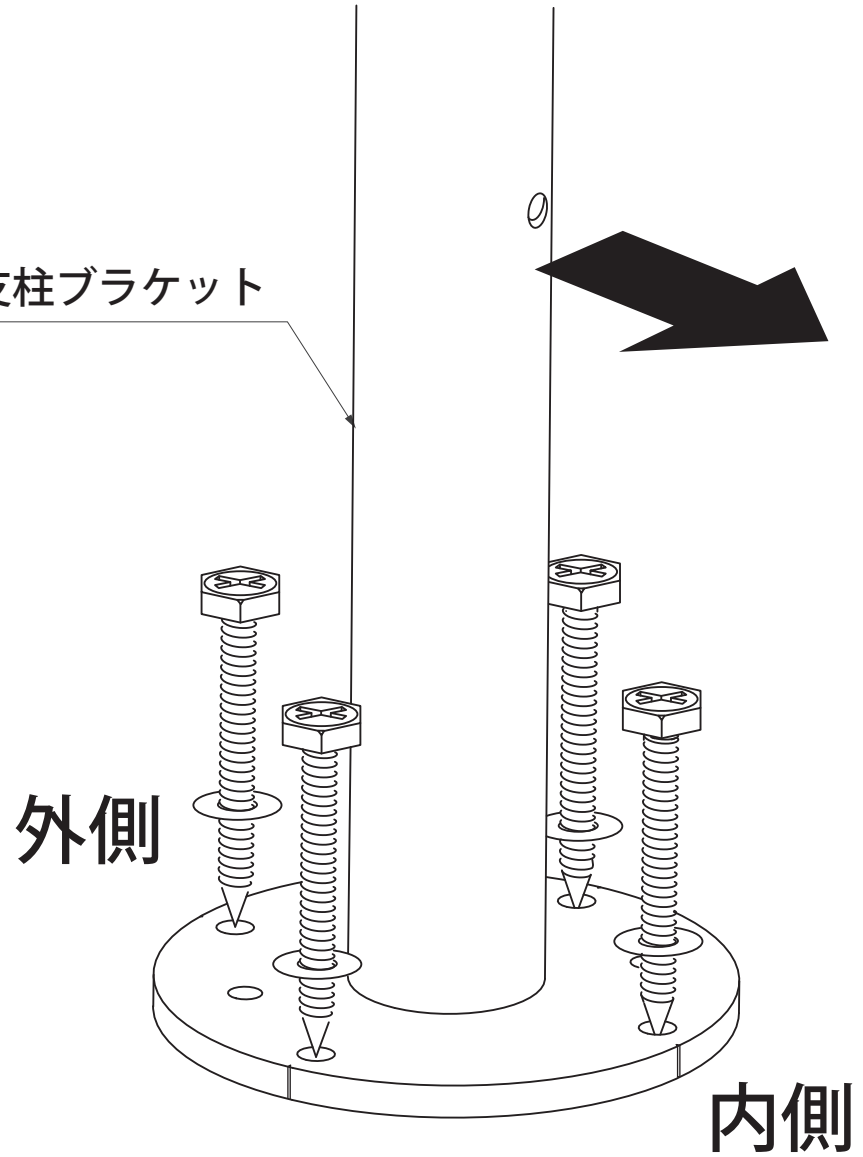
⚠ 注意

手順「1. 支柱ブラケットの固定」で取り付ける「**6** 支柱ブラケット」は、

パイプ側面に穴が開いてる側が **内側** です。  
（人が通る側）

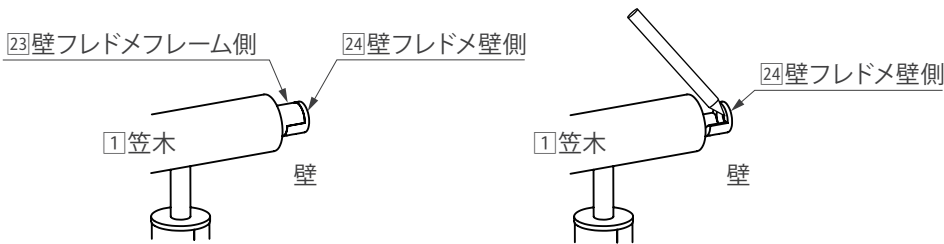
取付時、向きにご注意願います。

**6** 支柱ブラケット

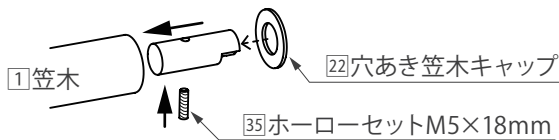
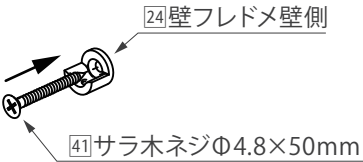


●壁フレドメの取付

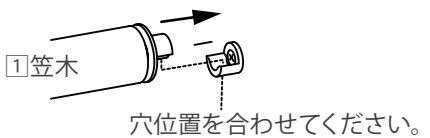
- ① 笠木に壁フレドメフレーム側と壁フレドメ壁側を仮であてがい、壁フレドメ壁側の取付位置に印を付けてください。
- △ 壁フレドメの固定は必ず下地に行ってください。



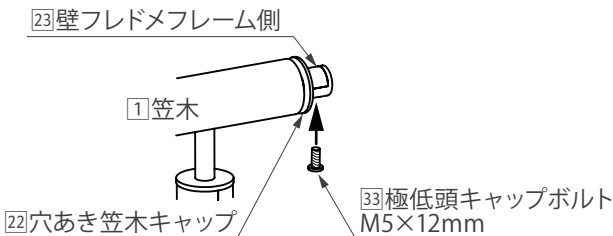
- ② 壁にΦ3.5mmの下穴を開け、<sup>24</sup>壁フレドメ壁側を<sup>41</sup>サラ木ネジΦ4.8×50mmで固定してください。
- ③ <sup>23</sup>壁フレドメフレーム側を<sup>①</sup>笠木に差し込み、<sup>35</sup>ホーローセットM5×18mmを仮留めしてください。一緒に<sup>22</sup>穴あき笠木キャップを<sup>23</sup>壁フレドメフレーム側に嵌め込んでおきます。



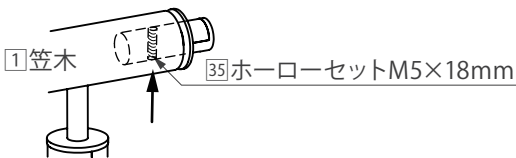
- ④ <sup>①</sup>笠木を<sup>23</sup>支柱に固定後、仕込んでおいた<sup>23</sup>壁フレドメフレーム側を引き出し、<sup>24</sup>壁フレドメ壁側とビス穴の位置を合わせてください。



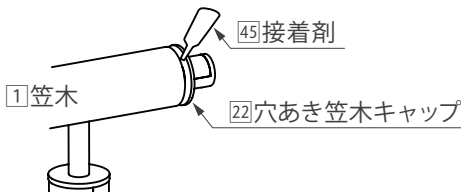
- ⑤ <sup>24</sup>壁フレドメ壁側と<sup>23</sup>壁フレドメフレーム側を、<sup>33</sup>極低頭キャップボルトM5×12mmで固定してください。



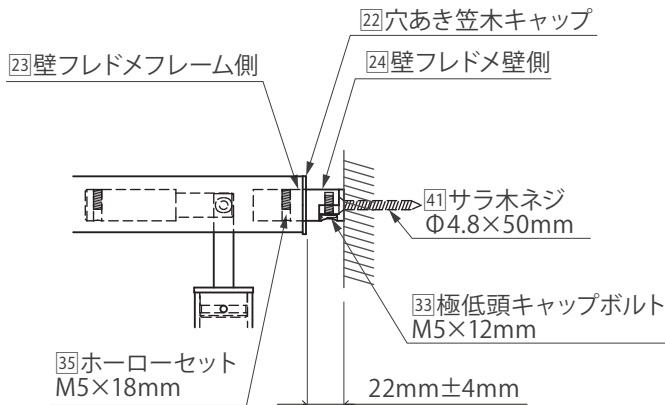
- ⑥ <sup>35</sup>ホーローセットM5×18mmを締めて<sup>23</sup>壁フレドメフレーム側を<sup>①</sup>笠木に固定してください。



- ⑦ <sup>22</sup>穴あき笠木キャップを<sup>①</sup>笠木の端部に<sup>45</sup>接着材で固定してください。

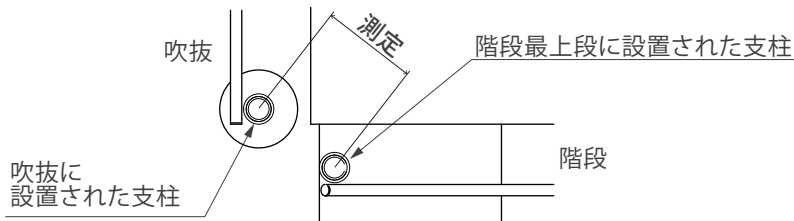


●壁フレドメの納まり



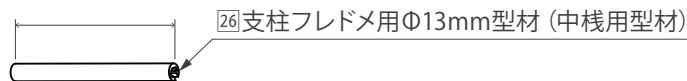
●支柱フレドメの取付

- ① 吹抜に設置された支柱と階段用Aluteの最上段に設置された支柱と芯々の水平距離を測定してください。

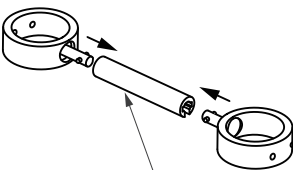


- ② 測定した数値をもとに、<sup>26</sup>支柱フレドメ用Φ13mm型材（中棧用型材）を「(階段支柱、吹抜支柱の芯々距離)－41mm」のサイズに切断してください。 △ 切断には、アルミ用チップソーを用いてください。

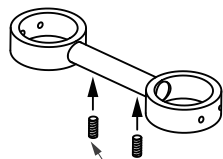
「(階段支柱、吹抜支柱の芯々距離)－41mm」のサイズに中棧の型材をカット



- ③ 切断した<sup>26</sup>Φ13mm型材に<sup>25</sup>支柱フレドメブラケットを差し込み、<sup>37</sup>ホーローセットM4×8mmで固定してください。

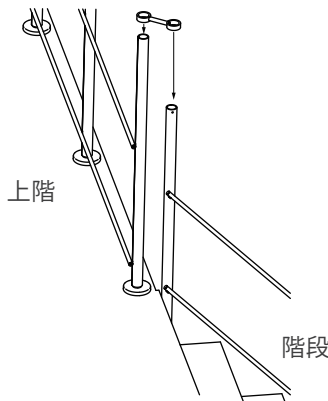


切断した<sup>26</sup>支柱フレドメ用Φ13mm型材（中棧用型材）



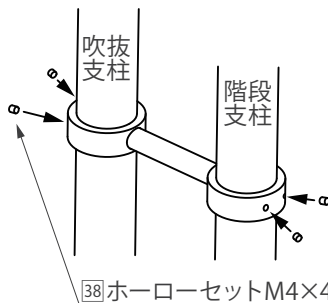
<sup>37</sup>ホーローセットM4×8mm

- ④ 組み立てた支柱フレドメを支柱に差し込んでください。
- ⑤ 支柱フレドメと支柱を、<sup>38</sup>ホーローセットM4×4mmで固定してください。



上階

階段



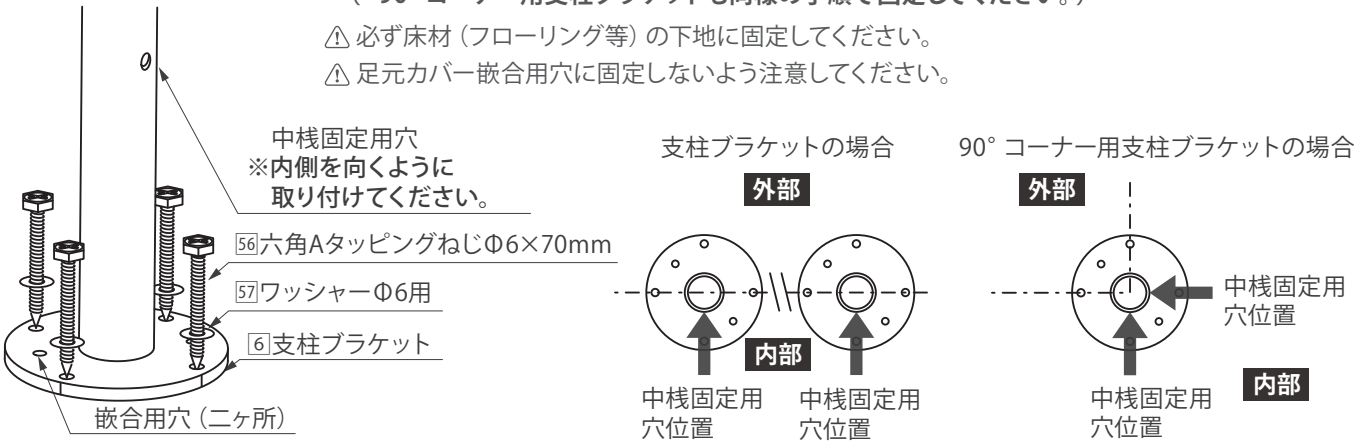
<sup>38</sup>ホーローセットM4×4mm

※本製品は、ビス留め箇所の多い製品です。最後に、ビスの締め忘れ、緩みがないかを確認してください。

1. 支柱ブラケットの固定

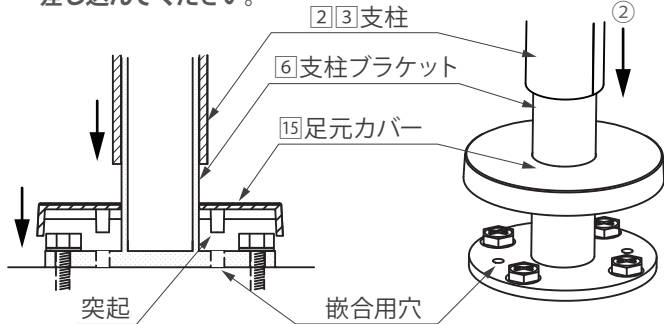
- ① ⑥支柱ブラケット取付位置に、Φ4.5×70mmの下穴を開けてください。
- ② 取付の向きに注意し⑥支柱ブラケットを⑤六角AタッピングねじΦ6×70mmと⑦ワッシャーΦ6用で固定してください。
- (②0° コーナー用支柱ブラケットも同様の手順で固定してください。)

- ⚠ 必ず床材（フローリング等）の下地に固定してください。
- ⚠ 足元カバー嵌合用穴に固定しないよう注意してください。



2. 足元カバーと支柱を被せる

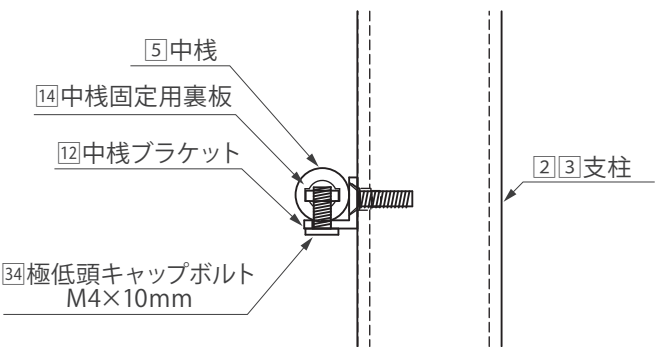
- ① ⑮足元カバーを⑥支柱ブラケットに差し込み、内側の突起を、支柱ブラケットの嵌合用穴に差し込んでください。
- ② ⑮足元カバーを装着後、⑥支柱ブラケットに②③支柱を差し込んでください。



⚠ カバーと床の間に隙間が1mm程度空くことがあります。

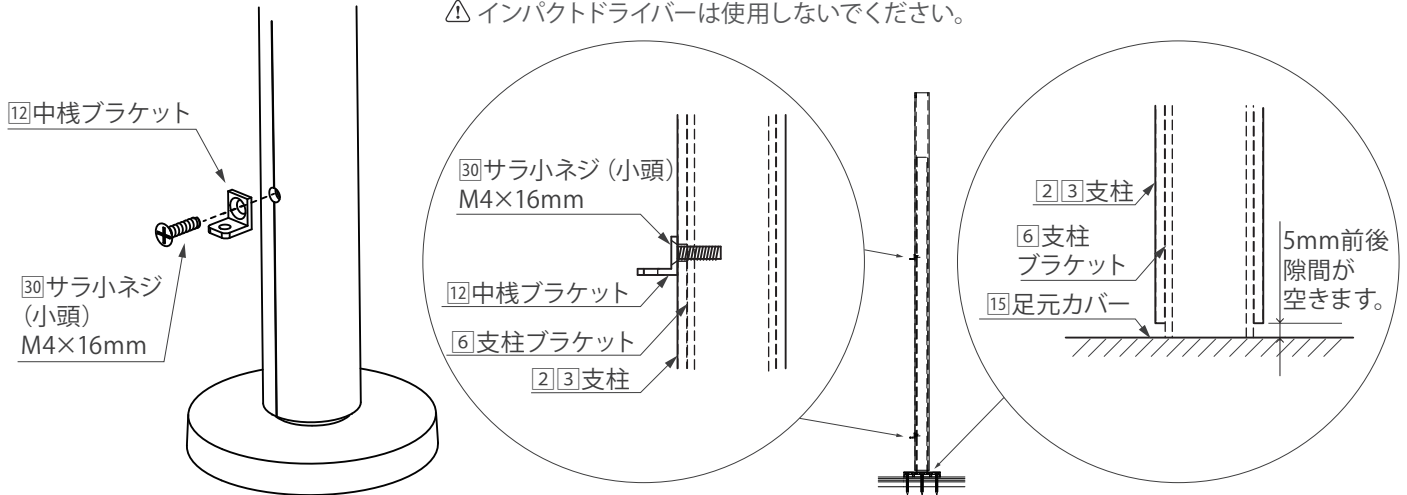
3. 中棧の取付：中棧の納まり

中棧取付の大まかな納まりを確認いただいてから次ページの説明をご覧くださいとスムーズです。



4. 中棧ブラケットの取付

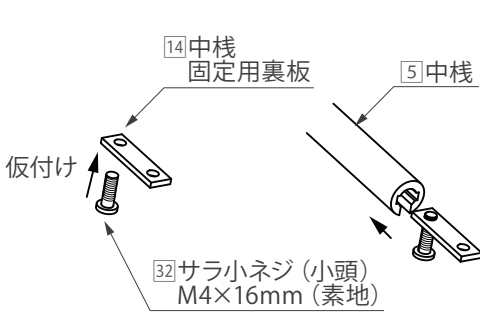
- ① ②③支柱と⑥支柱ブラケットの穴位置を揃えて、そこに③⑩サラ小ネジ(小頭)M4×16mmで⑫中棧ブラケットを固定してください。
- ⚠ インパクトドライバーは使用しないでください。



5. 中棧の取付

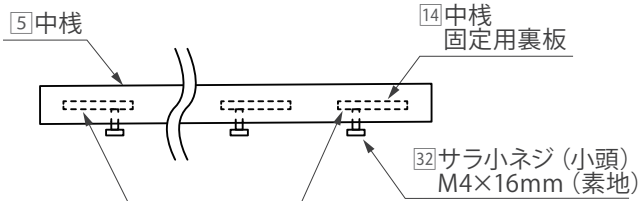
⚠ 支柱フレドメを施行する場合は、この作業の前に実施してください。

- ① ⑭中棧固定用裏板に③⑩サラ小ネジ（小頭）M4×16mm（素地）を仮付けし、⑤中棧を取り付ける④支柱の本数と同じ数量を⑤中棧に差し込んでください。



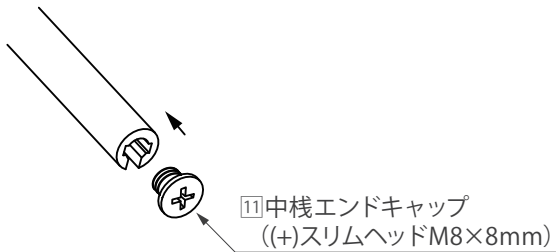
⚠ ③⑩サラ小ネジ（小頭）M4×16mm（素地）は、中棧取付後、取り外します。

⚠ 端部に来る⑭中棧固定用裏板の向きは、下図のようにしてください。

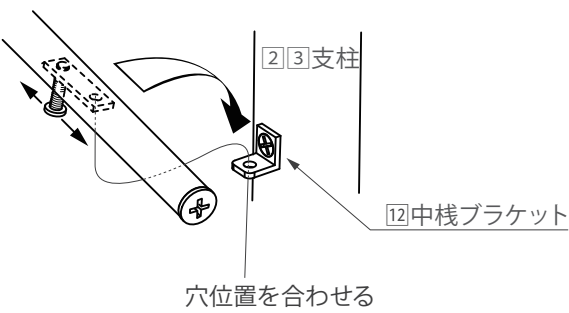


両端の⑭中棧固定用裏板は、③⑩サラ小ネジ（小頭） M4×16mm（素地）を付けた側が内側になるように差し込んでください。端部以外の⑭中棧固定用裏板の向きに指定はありません。

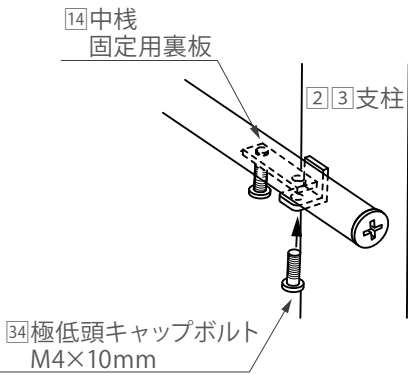
- ② ⑤中棧の両端に、⑪中棧エンドキャップ（+）スリムヘッドM8×8mm）を取り付けてください。



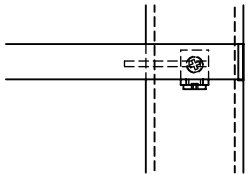
- ③ ⑤中棧を、②③支柱に取り付けた⑫中棧ブラケットに乗せ、⑭中棧固定用裏板と⑫中棧ブラケットの穴位置を合わせてください。



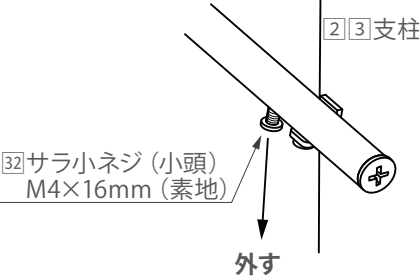
- ④ ③④極低頭キャップボルトM4×10mmで⑫中棧ブラケットと⑭中棧固定用裏板を固定してください。



⚠ 標準設計では、⑤中棧の端部と、②③支柱が揃う設計となっています。

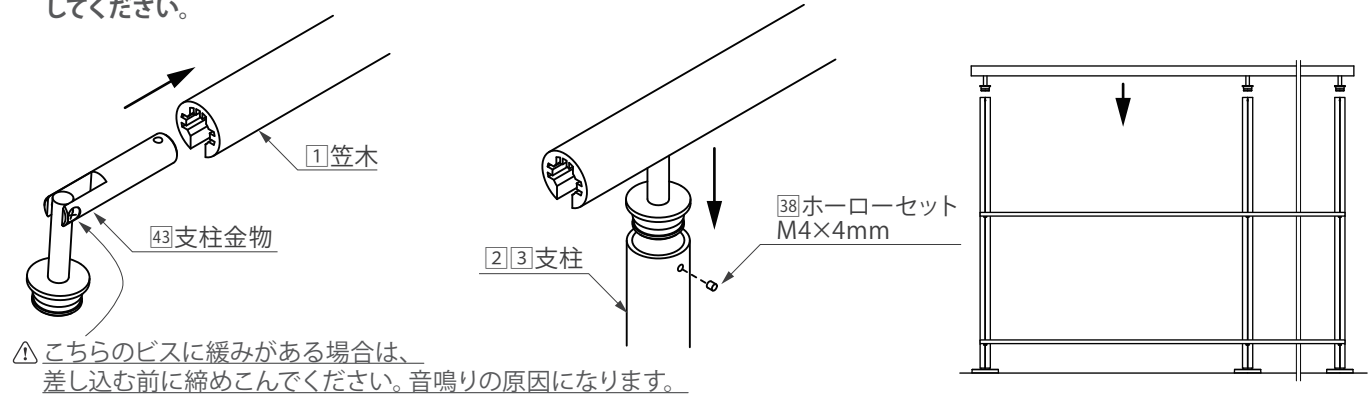


- ⑤ 仮付けしていた③⑩サラ小ネジ（小頭） M4×16mm（素地）を全て外してください。



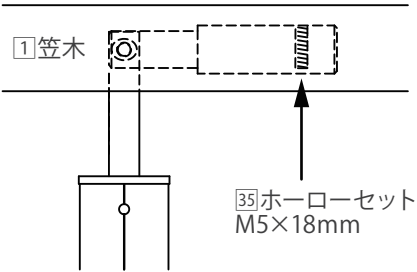
6. 笠木の取付 ⚠ 壁フレドメを施行する場合は、この作業の前に実施してください。

- ① ①笠木に④③支柱金物を差し込んでください。
- ② ④③支柱金物を支柱に差し込み、  
④③支柱金物が笠木の中でその他の部材と  
干渉しないよう、差し込む向きに注意  
してください。
- ③ ③⑧ホーローセットM4×4mmで固定してください。



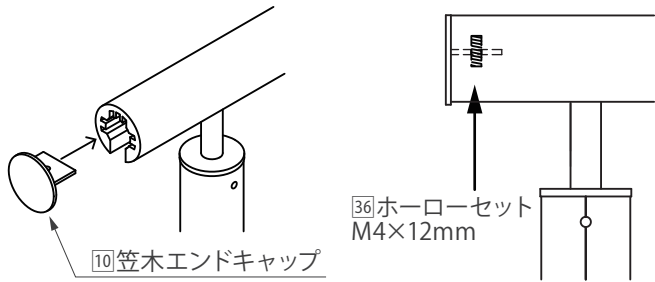
7. 支柱金物の固定

- ① ④③支柱金物を③⑤ホーローセットM5×18mmで  
笠木に固定してください。

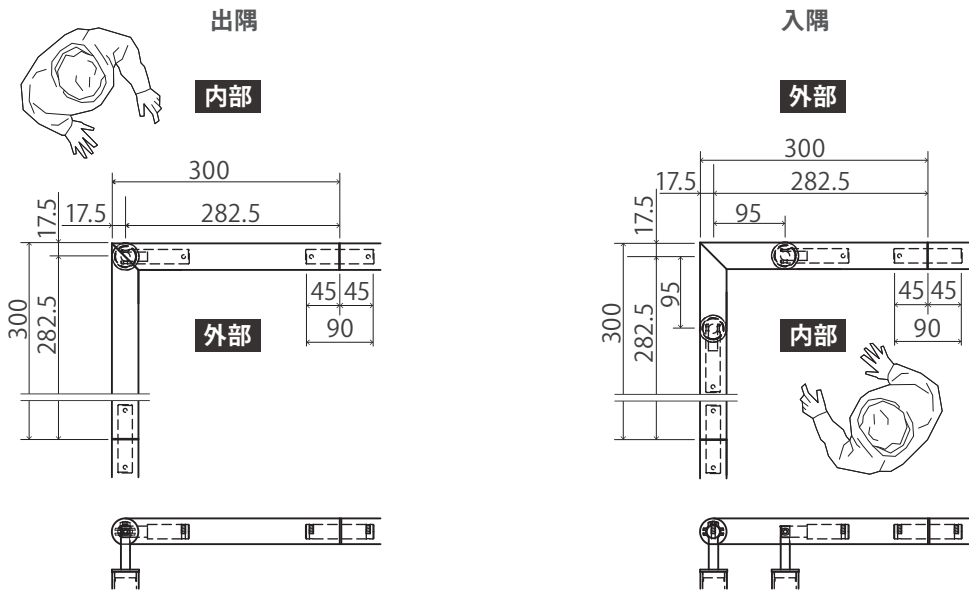


8. エンドキャップの固定

- ① ①笠木の端に⑩笠木エンドキャップを差し込み、  
③⑥ホーローセットM4×12mmで固定してください。



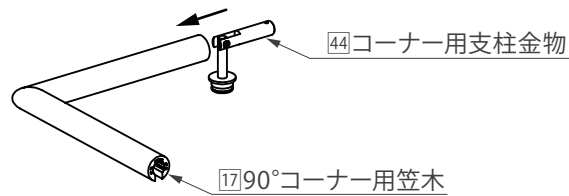
● 90° コーナーの納まり



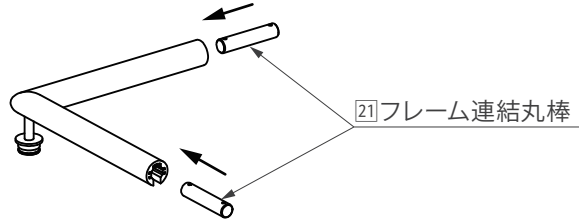
● 90° コーナー用笠木の取付

⚠ 本説明書では、出隅コーナー（支柱が1本の場合）の取付方法を説明します。  
入隅コーナーでは、支柱が2本となります。（90° コーナーの納まり図参照）

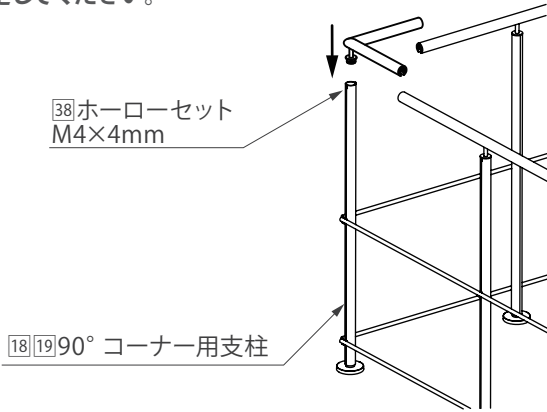
- ① ①⑦90°コーナー用笠木に④④90° コーナー用支柱金物を差し込み、  
③⑤ホーローセットM5×18mmでコーナーの頂点に固定してください。



- ② ①⑦90°コーナー用笠木に②①フレーム連結丸棒を  
差し込んでください。

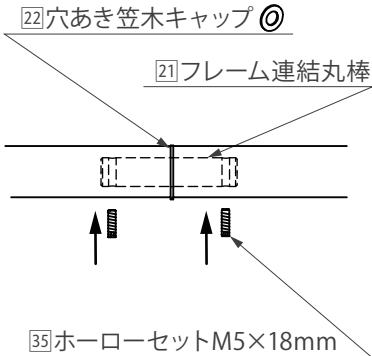
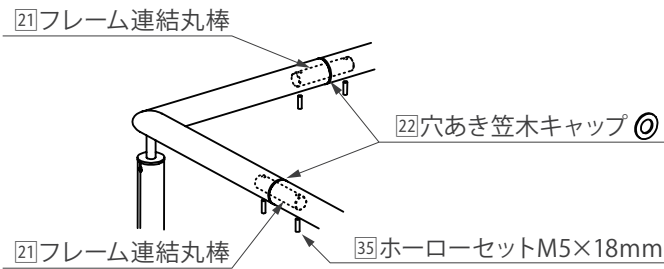


- ③ 支柱金物を支柱に差し込み、③⑧ホーローセットM4×4mmで  
固定してください。



⚠ 出隅コーナーでは、①⑧⑨90°コーナー用支柱、  
②⑩90°コーナー用支柱ブラケットを使用します。  
中棧を二方向に取り付けるため、  
取り違えないようにご注意ください。

- ④ 連結する笠木と笠木の間に②②穴あき笠木キャップを挟み、  
②①フレーム連結丸棒が、連結する笠木と笠木に均等に貫通するよう調整し、  
③⑤ホーローセットM5×18mmで固定してください。



※本製品は、ビス留め箇所の多い製品です。最後に、ビスの締め忘れ、緩みがないかを確認してください。